

SDGs経営立ち上げ支援サービス 診断結果レポート

1. 講評

<p>各分野において、SDGs・ESGに資する取組みが進んでいます。特に「気候変動」「職場環境の改善」「コミュニティへの参画・発展」「組織統治」の分野で取組みが活発です。</p> <p>「E」の分野では、自社ホームページ内で環境宣言をしており、環境改善目標を設定されています。環境マネジメントシステムの導入を通じた、省エネ・省資源、廃棄物の削減等、環境負荷低減に資する取組みが進んでいます。今後は、更なる取組みのために、大気汚染関連物質の排出削減や土壌汚染関連物質の削減目標の進捗管理についてもご検討ください。「S」の分野では、資格・免許取得支援や有休休暇取得促進等のダイバーシティの推進への取組みや、アンケートの実施による職場環境改善への取組みが進んでいます。今後は、メンタルヘルス研修の実施についてもご検討ください。「G」の分野では、「事業継続力強化計画」の策定によるリスクマネジメントの体制整備や法令遵守の徹底等、積極的に取組まれています。今後はレジリエンス認証取得に向けた取組みもご検討ください。本業界は、CO2排出量の少ない環境負荷低減に資する交通ネットワークとして、国民生活や経済活動に必要な不可欠な交通インフラの製造に貢献しています。海外鉄道事業の受注の中で、今後も更なる取組み・改善についてもご検討ください。</p>	<p>環境 100%</p> <p>公正な事業慣行 80%</p> <p>人権・労働慣行 60%</p> <p>消費者課題 60%</p> <p>コミュニティへの参画・コミュニティの発展 60%</p> <p>組織統治 60%</p>
--	---

2. 項目分析

ESG分類		ESG重要課題	関連SDGs	対応状況	講評・ご提案内容
E	環境	気候変動対策	7.8.12.13	◎	KES（ステップ2）の活動を通じた、各排出量の削減への取組みが見られます。また、廃棄物の削減、省エネ設備の導入・更新、デジタル化を通じた省エネ・省資源への取組みやグリーン購入の推進、環境教育の実施等、環境に配慮した取組みが進んでいます。KESのご継続とともに、大気汚染関連の有害物質排出・使用削減目標の進捗管理や土壌汚染関連物質の使用削減もご検討ください。
		廃棄物・リサイクル（3R）	6.8.9.11.12.14	◎	
		大気汚染	12	○	
		土壌汚染	12	○	
		水管理	3.6.12	◎	
		生物多様性	2.6.11.15	◎	
S	人権・労働慣行	人権の尊重	(-)	◎	高齢者雇用や資格・免許取得支援等の人材育成への投資、有給休暇取得促進等のダイバーシティの推進に資する取組みや、無記名アンケートや職場満足度調査を通じた職場環境改善への取組みが進んでいます。また、「健康企業宣言」を通じた社員への健康投資への取組みも見られます。今後は、メンタルヘルスに関する研修の実施もご検討ください。
		ダイバーシティの推進	(-)	◎	
		職場環境の改善	(-)	◎	
		人材育成	3.4.8	◎	
		健康経営・ヘルスケア	3	○	
		取引先企業の情報管理	(-)	○	
	消費者課題	安全性・品質	(-)	○	保険への加入等の安全性・品質への取組みが見られます。今後は、安全基準・設計基準、事故防止マニュアル等の作成や顧客情報にかかる管理状況の確認もご検討ください。
		情報開示	(-)	△	
		個人情報保護・知的財産保護	(-)	○	
	コミュニティへの参画 コミュニティの発展	地域貢献・地方創生	4.11	◎	地元企業との取引や地元学校との連携による、コミュニティへの参画・発展への取組みが進んでいます。今後は防災訓練の実施についてもご検討ください。
地域の課題解決への貢献		4.11	◎		
地域文化等への理解		11	◎		
G	組織統治	企業統治（コーポレートガバナンス）	(-)	◎	「パートナーシップ構築宣言」を通じた公正な事業慣行や「事業継続力強化計画」策定によるリスクマネジメント、法令遵守を徹底した取組みが活発です。現行の取組みをご継続いただくとともに、レジリエンス認証の取得もご検討ください。
		リスクマネジメント	(-)	◎	
		法令順守（コンプライアンス）	(-)	◎	
	公正な事業慣行	公正な取引の遵守	(-)	◎	

(◎)：取組みが大いに進んでいる、○：取組みが進んでいる、△：一部取り組んでいる、×：取り組んでいない、-：事業と関係しない